

光ファイバ ファストLCコネクタ (マルチモード) 加工説明書

面倒な研磨・接着不要!!

光ファイバ ファストコネクタ

LCコネクタ

マルチモード

4個入り | UPC 研磨済み | OM3・OM4

現場で簡単に
加工できる



この度は、光ファイバファスト LC コネクタ
「**HKB-AC-FLCMM**」(以下本製品)をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。この加工説明書では、本製品
の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記
載しています。ご使用前によくご覧ください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確
認ください。万一、足りないものがありましたら、お買い
求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①光ファイバファストLCコネクタ …… 4個

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。

本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

もくじ

- 1.コネクタ作成前の準備 P.1～2
- 2.芯線をクリーブする..... P.3～10
- 3.コネクタの作成方法 P.11～13
- 4.仕 様 P.14
- 5.特 長 P.14

1.コネクタ作成前の準備

●準備物



外皮むき工具
HKB-TL37



光ファイバクリーバー
HKB-TL36



クリーニングペーパー
HKB-AC-CL5

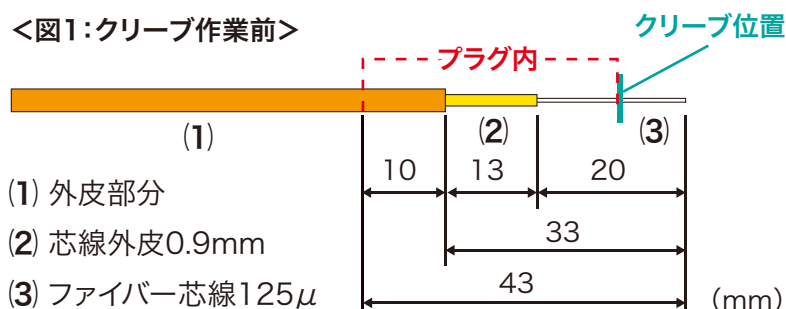
※ハサミ、油性ペン、ものさしもご用意ください。



自作のための光ファイバコード寸法

※2.0mm光ファイバコードを使用しています。

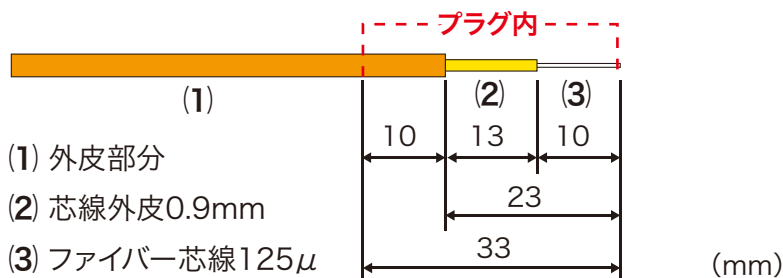
<図1:クリーブ作業前>



外皮は33mm除去し、芯線外皮を20mm除去します。
コーティングを剥がし、芯線外皮の端をクリーバのスケールの先端部分にセットしてクリーブします。



<図2:クリーブ作業後>

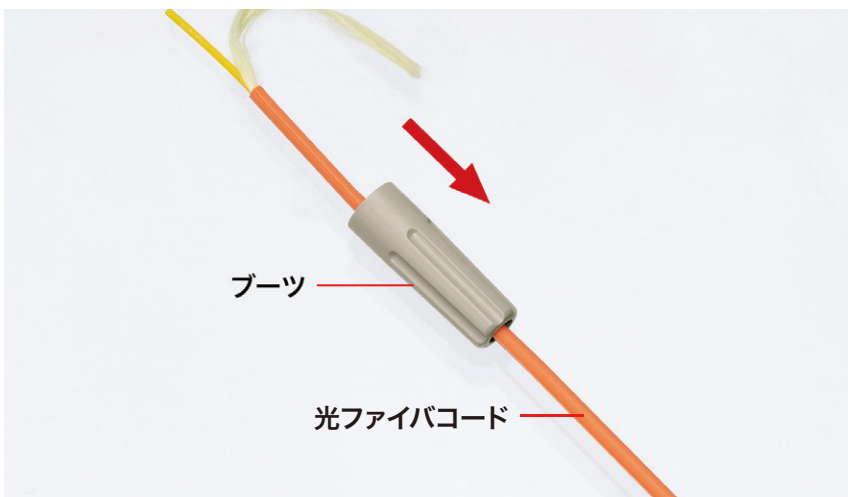


この寸法が仕上がり状態になります。先端はクリーブした状態です。このため、実際の切断や被膜除去は<図2>の寸法となります。

2.芯線をクリーブする

※光ファイバコードの先端・芯線が光っている写真は、見やすくするためのもので、実際には光りません。

① ブーツを光ファイバコードに通す

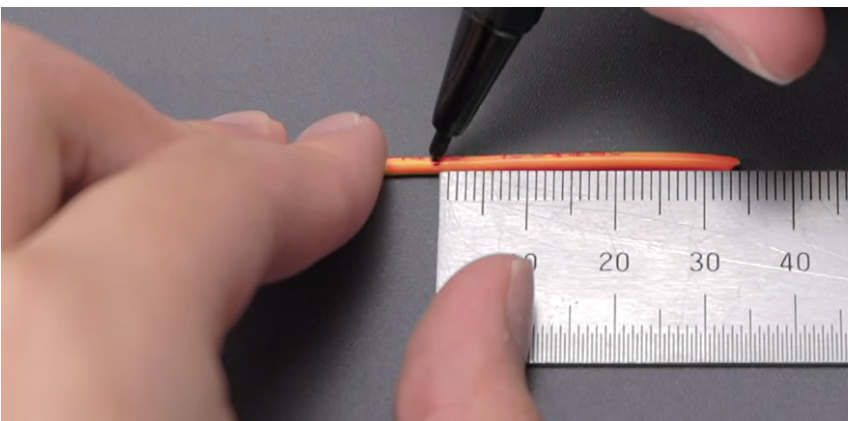


①ブーツ→② 2mmブーツの順に光ファイバコードを通します。



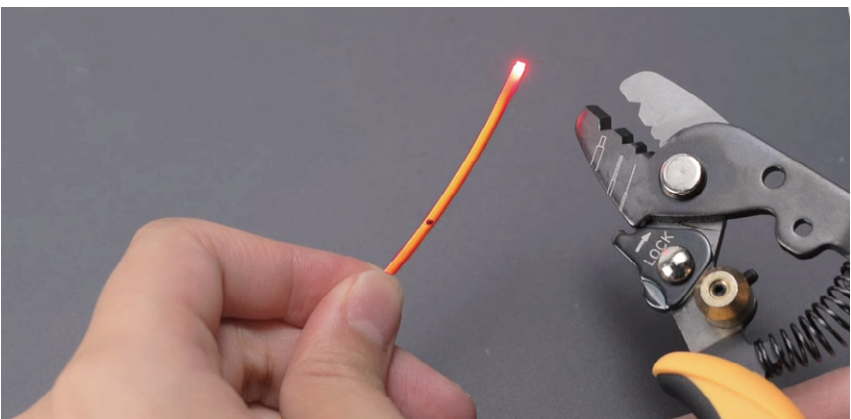
クリーブ作業後にブーツを通すと、クリーブ作業した先端を傷める場合があります。必ずブーツに通してから作業してください。

② ケーブル外皮(ジャケット)を剥く長さを測る

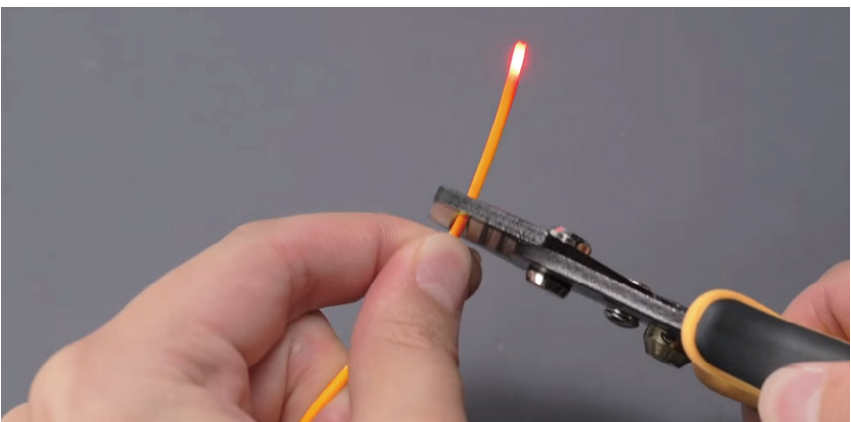


ケーブルの先端から**33mm**のところに印をつけます。

③ ケーブル外皮(ジャケット)を剥く

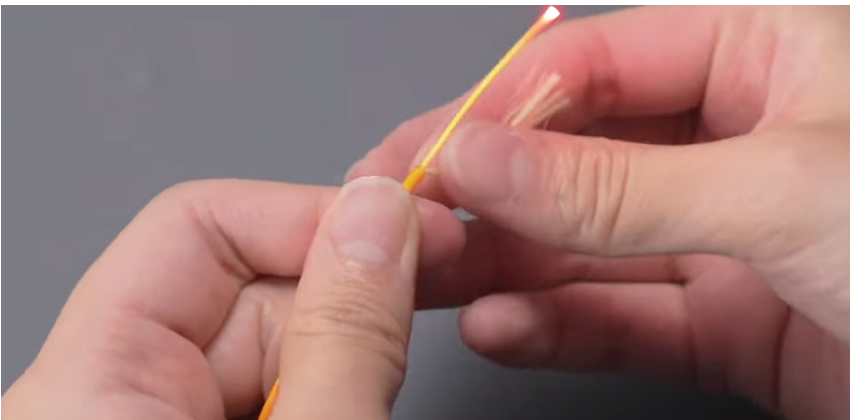


外皮むき工具の**一番先の溝**にケーブルを通し、
印をつけた位置で挟みます。



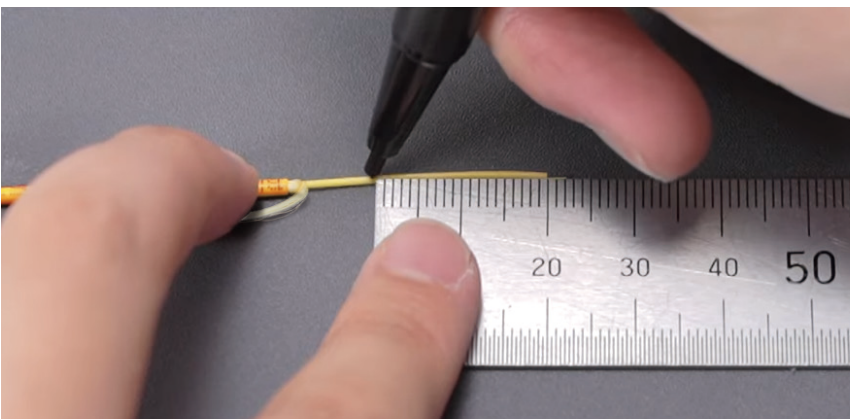
刃を閉じたまま先端に向けて引っ張ると外皮が剥けます。





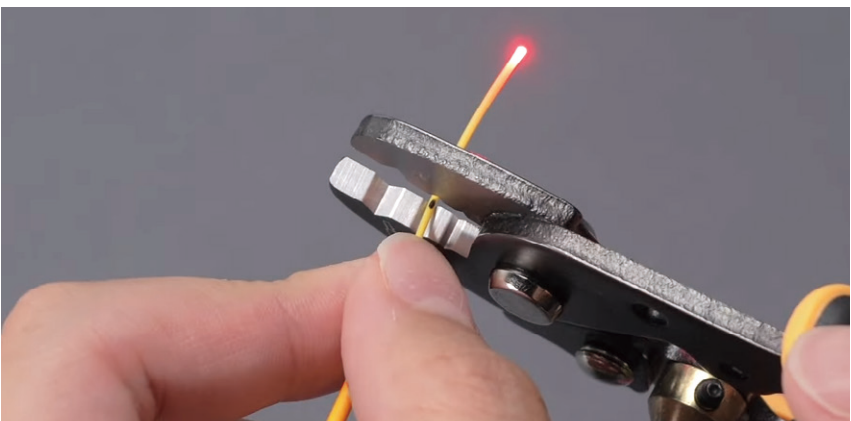
ケブラー（糸状のもの）が出てきます。
根本側に束ねておきます。

④ バッファ外皮を剥く長さを測る

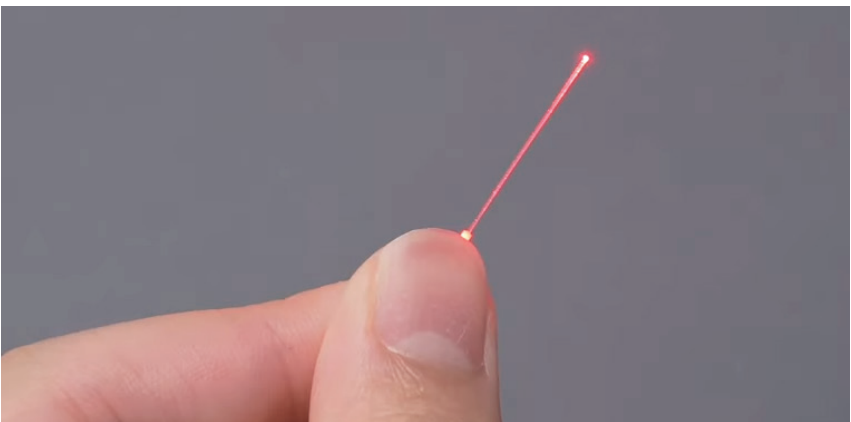


ケーブルの先端から**20mm**のところに印をつけます。

⑤ バッファ外皮を剥く

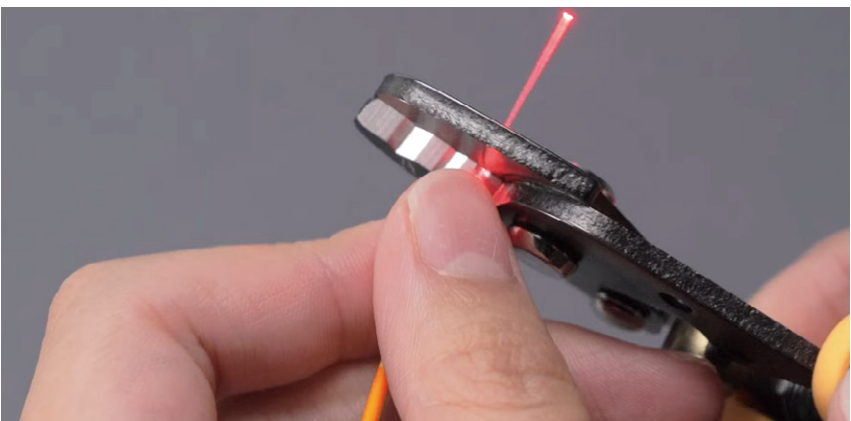


外皮むき工具の**真ん中の溝**にケーブルを通し、
印をつけた位置で挟みます。



刃を閉じたまま先端に向けて引っ張ると
バッファ外皮が剥けます。

⑥ UV外皮・保護膜を剥く



外皮むき工具の**一番根本の溝**にケーブルを通し、印をつけた位置で挟みます。

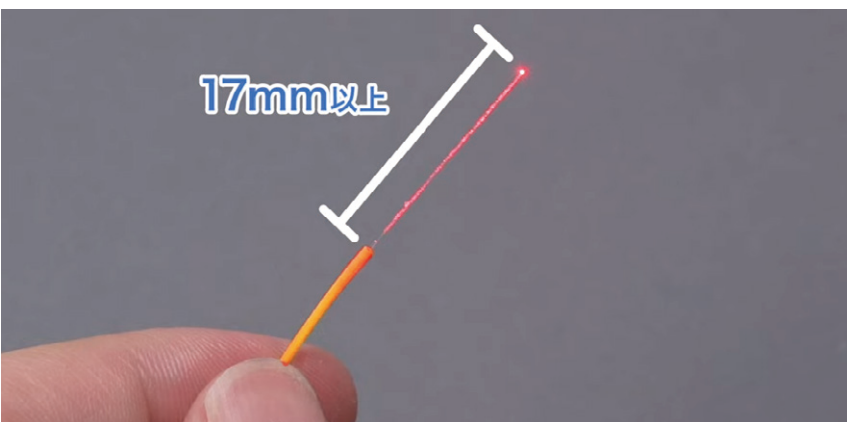


刃を閉じたまま先端に向けて引っ張ると
UV外皮・保護膜が剥けます。



この作業の際、力を入れすぎると芯線が折れてしまうので注意してください。

⑦ ファイバ芯線の長さを確認する



この透明の芯線の長さが**17mm以上**(～20mm)であれば問題ありません。

⑧ クリーニングペーパーで拭き取る



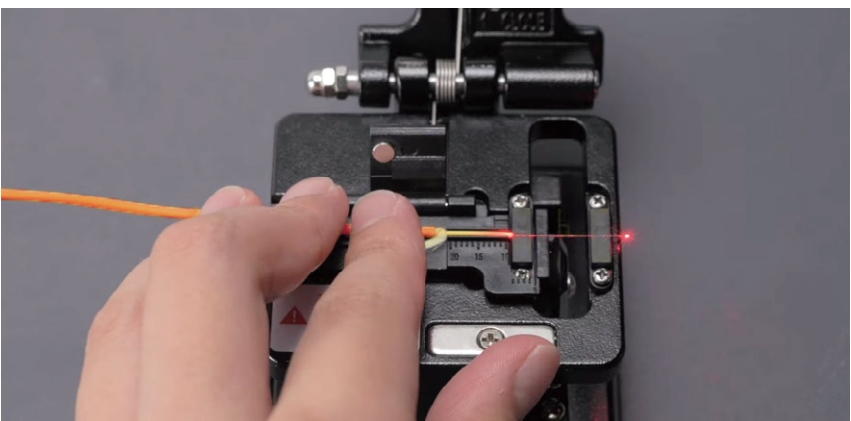
細かいごみをクリーニングペーパーで拭き取ります。

WET→DRYの順で拭き残しが無いように拭き取ります。



クリーニングペーパーで拭いた後は芯線に触らないようにしてください。

⑨ 先端をクリーブ作業する



光ファイバを光ファイバクリーバの溝に沿わせて置き、
芯線とバッファ外皮の境目を**10の目盛り**に合わせます。
芯線は**刃と直角**に、ゴム部分に重ならないように置きます。



ファイバーホルダーリッドでケーブルを固定し、
クランプカバーを閉じます。
下のレバー（ファイバーカットボタン）を押し込みます。

⑩ 先端のクリーブ作業が完了



クリーブ作業が完了しました。

クリーブした後は芯線に触らないようにしてください。

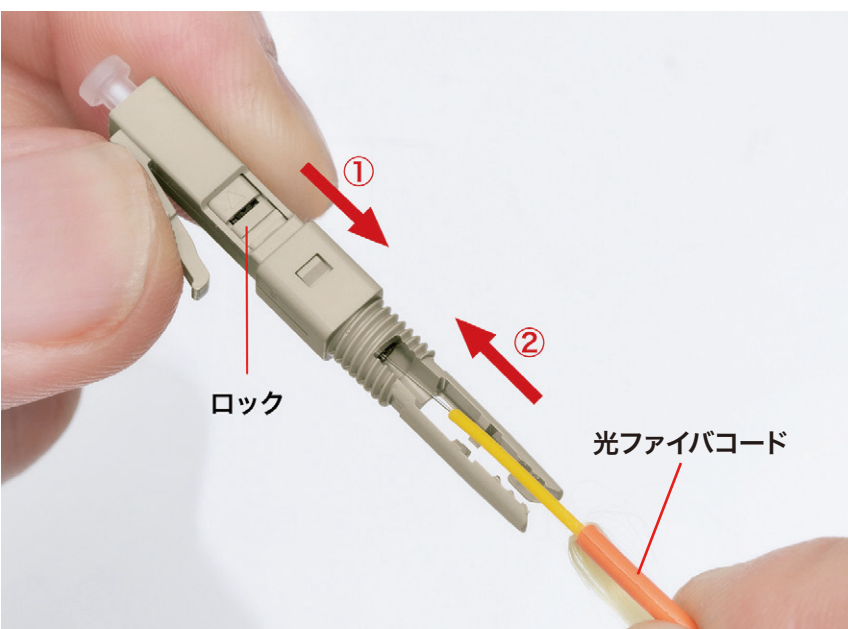


芯線はガラスでできており、透明で細かいため不要になった部分は速やかに処分してください。

目に入ったり、指に刺さらないように注意してください。

3.コネクタの作成方法

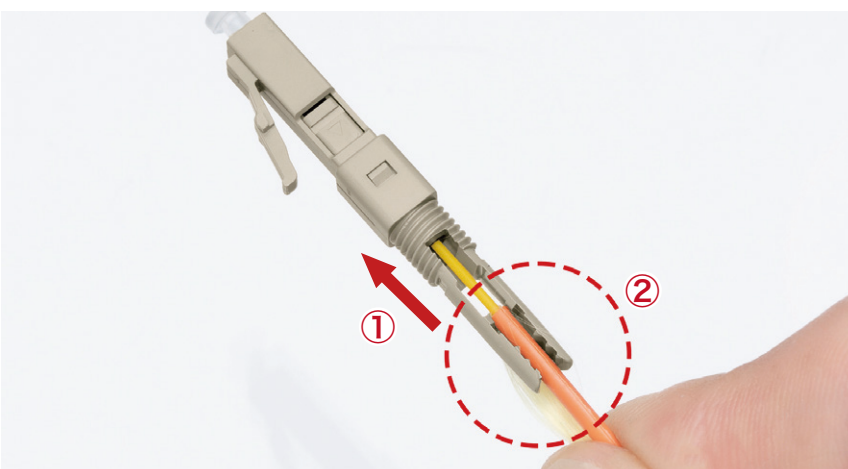
① コネクタに光ファイバコードを差し込む



① コネクタのロックを手前へスライドし

② 光ファイバコード(コア)を差し込む

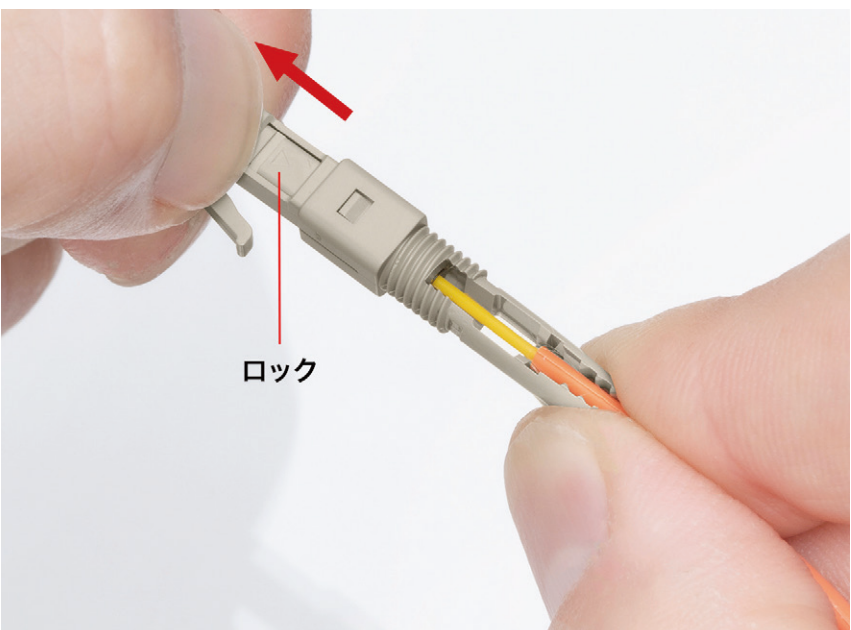
② 光ファイバコードを奥まで差し込む



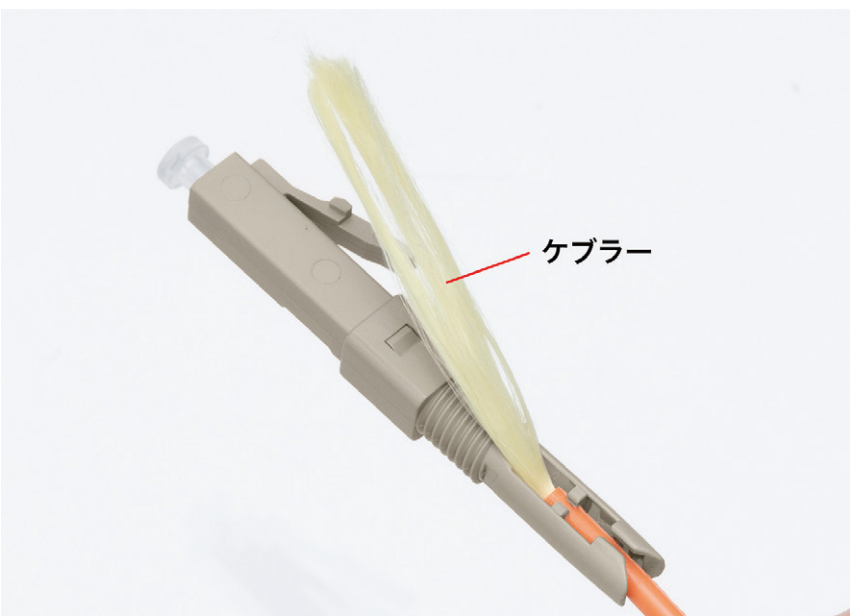
① 光ファイバコードを奥まで差し込む

② コード外皮をコネクタにはめ込む

③ ロックをプラグ先端へスライドして戻す



④ ケブラーを伸ばしておく



⑤ ブーツを締め、余ったケブラーをカットする



ハウジングを入れる際は、先端キャップが付いていることを確認し、ハウジングの向きに注意して取付けてください。

これで完成です。



4.仕様

光ファイバコア径	50 μ m
ファイバ種別	マルチモード
コネクタ形状	LCコネクタ
使用環境	屋内用
適合ケーブル	0.9mm芯線、2.0mm外皮ファイバコード、 3.0mm外皮ファイバコード
適合モード	マルチモード(OM4・OM3)
研磨	UPC
入数	4個
関連工具	HKB-TL36(光ファイバクリーバー)、 HKB-TL37(光ファイバ外皮むき工具)、 HKB-AC-CL5(クリーニングシート) ※全て弊社製品です。

5.特長

- 端面の研磨作業不要、接着作業不要、光ファイバコードをコネクタ差し込み固定するだけの、現場加工可能な光ファストコネクタです。
- 端面はUPC研磨済みで、面倒な研磨作業は不要です。
- コネクタ内部にメカニカルスプライス構造を内蔵で、光ファイバコードの先端に簡単にコネクタ取付けが可能です。
- くさびユニットが製品に添付されているので、コネクタ組立には専用工具は必要ありません。(外皮むき工具、クリーバー(カッター)のファイバー線材工具は必要です)
- 0.9mm芯線、2.0mm外皮・3.0mm外皮のファイバコードに対応することが可能です。

弊社サポートページはこちら！

- サポート情報
 - Q&A(よくある質問)
 - ソフトダウンロード
 - 各種対応表
- など、最新情報を随時更新しています。

<https://www.sanwa.co.jp/support/support.html>

本加工説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1	TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8	TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8	TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 TM仙台ビル	TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-16-18 CUBE MEIEKI	TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア	TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
広島営業所 / 〒732-0828 広島県広島市南区京橋町7-18 新井ビル	TEL.082-264-2716 FAX.082-264-2717
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル	TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CE/BB/MZDaU